

あがつま 吾妻地域の山や森林の魅力・わくわく発見！

1 吾妻の国有林の概要

吾妻森林管理署は、群馬県の北西部、利根川支流の吾妻川流域に位置し、吾妻郡4町2村の区域の8割を占める10万^{ヘクタール}の森林のうち、5.8万^{ヘクタール}の国有林を管理しています。

長野県の県境には、日本百名山の^{あさまやま}浅間山、^{あずまやさん}四阿山、^{しらねさん}白根山、^{しらすなやま}白砂山などの高山が連なり、ブナ、ミズナラ、コメツガ、シラベ等の天然林が広がっているほか、上信越高原国立公園に指定され、山岳や湖沼、スキー場や温泉など地域の観光資源の多くが所在しています。

また、国有林の約4割が人工林で西部はカラマツ、東部はスギの造林地が広がっています。

これら森林の有する多面的な機能を発揮させるための間伐等の森林整備や地域の安全・安心を確保するための治山事業などを通じた公益重視の管理経営の推進と、木材の安定供給、林業の低コスト省力化、民有林と連携した森林整備など林業成長産業化への貢献などを旨として様々な取組を推進しています。

さて、前置きはこのくらいにして、すこし視点を変え、写真を中心に管内のみどころを紹介します。

2 ^{あがつま}吾妻地域の山や森林の魅力・わくわく発見！

赴任3年目を向かえ、吾妻地域には国内有数、ナンバー・ワン、国内初などが、数多くあることを教えて頂きました。観光資源の多くに森林や国有林が関わってまいります。吾妻地域の魅力やわくわくの発見につながれば幸いです。



国道292号（志賀草津高原ルート）の日本国道最高地点（2,172m）から
手前左「草津白根山」の稜線、中央奥遠方「富士山」、
その下の左から「本白根山」と「逢ノ峰」、右上奥「浅間山」

<2018年4月>

多くの温泉がある中之条町。中でも「**四万温泉**」は、昭和29年に**国民保養温泉地の第一号**に指定され、また昨年は**温泉総選挙2018女子旅部門1位**に輝き、草津の仕上げの湯としても知られています。

付近一帯の国有林を背景に、40箇所を超える源泉と豊かな森の中を流れる四万ブルーの清流に沿った温泉が特徴です。

2019年6月に温泉入口の**甌穴**（県天然記念物）の上段の国有林において、四万温泉協会や高校生の皆様約80名と「**温泉と森を守る活動**」として、ヤマザクラなど850本を植える活動を行いました。

これは、温泉協会から四万森林官に「訪れる方に喜んでもらえる森にしてほしい」、「自分達も協力したい」といった声が届き、森の役割といった勉強会や打ち合わせ会議を重ねる中、協会の皆様が主体となって企画し実現したものです。

※四万温泉入り口の「甌穴」（2018年秋）
※四万温泉協会、吾妻中央高校生との森づくり（2019年春）

次は、**花**をテーマにした観光資源です。中之条ガーデンズ、中之条山の上の庭園に代表される季節を通じ楽しめる花々の庭園に加え、**天空の庭園**とも見まがう「**野反自然休養林**」は、湖面を黄色に染めるノゾリキスゲ（ゼンテイカ）やレンゲツツジと、周囲の森との風景は圧巻です。

当地は、2017年に全国に先駆けて「**日本美しい森 お薦め国有林**」に選定（林野庁）されました。これは40年を超えて保護管理協議会や六合中学校の保護活動が永続的に行われてきたことが評価されたものです。

シーズン中には300種類を超える高山植物が野反湖畔や登山道を可憐に彩ります。近年では、山岳レースとして「**四万・草津スパトレイル**」が開催されるとともに、当地は2018年開通した**群馬県境稜線トレイル100キロ**の中間に位置する主要アクセスポイントとして、益々注目されています。

湖畔北の**野反ダム**は発電用としては**国内初のロックフィルダム**（1956完成）で、ダム建設の締め固めに投石の際の衝撃力を利用する「**投石工法**」が採用されるなど国内でも珍しいダムとのことです。

※野反自然休養林 満開のノゾリキスゲ（2018年7月）
※四万・草津スパトレイル 1260人が快走！（2018年6月）



孀恋村では、吾妻川の源流域、浅間山と四阿山等の裾野に広がる孀恋高原に、新鮮なキャベツ色と森林の大パノラマが広がります。

夏秋キャベツの生産は日本一、周囲のカラマツ林の多くが国有林です。これら緑の大地を駆け抜ける「爆坂注意！孀恋高原キャベツマラソン」や「愛妻の丘」で愛してるよ〜と叫ぶ！「キャベチュー」など多彩なイベントも行われています。

山に目を向けると縦縞に整然に並ぶ林が見えます。カラマツを2列単位で植栽したもので並木植えとも言います。昭和40年代に造林の省力化等の観点で当地で積極的に行われたもので、現在主流となった列状に行う間伐と高性能な林業機械による作業環境に適った森となっています。

田代湖近くに森があります。カラマツの種を採取する「田代第一採種園」です。昭和に植林した木が伐期を迎える中、跡地に植えるカラマツ苗木の不足が懸念され、その種子を安定的に供給するため、閉園していた採種園の整備を、2015年に当署、群馬県林業試験場、林木育種センターの3機関で協定を締結し、開始しました。2018年には、種子が入っている球果(カラマツの松ぼっくり)を供給することができました。

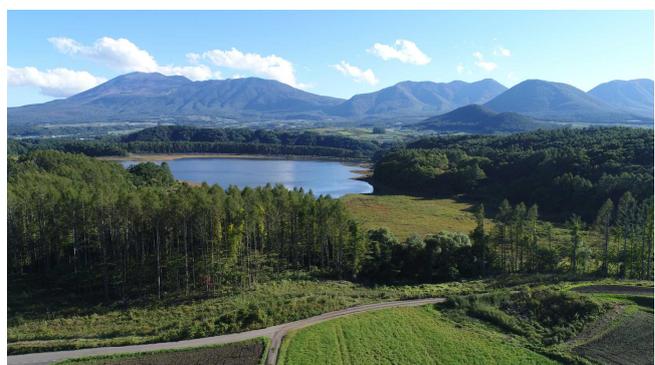


その種子を安定的に供給するため、閉園していた採種園の整備を、2015年に当署、群馬県林業試験場、林木育種センターの

3機関で協定を締結し、開始しました。2018年には、種子が入っている球果(カラマツの松ぼっくり)を供給することができました。

三原地区から県境に向かうと、通年、自家用車で行くことができる**日本最高所の温泉、「万座温泉」**に至ります。露天風呂からも、雄大な山々と亜高山帯の森が織りなす景色は、四季を通じて大自然のすばらしさを感じることが出来ます。

※爆坂注意！孀恋高原キャベツマラソン(2018年7月)
※一面キャベツ畑とカラマツ人工林(2019年7月)
※田代第一採種園上空から田代湖や浅間山
※白根山方面から眺める「万座温泉」(写真右道路の下方)と県境の山々 (2017年6月)



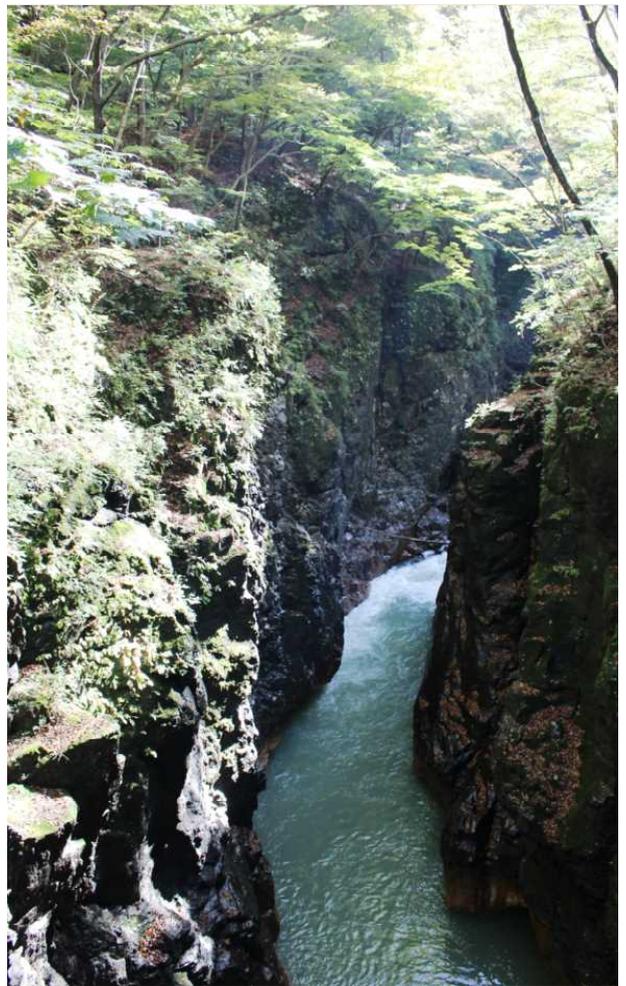
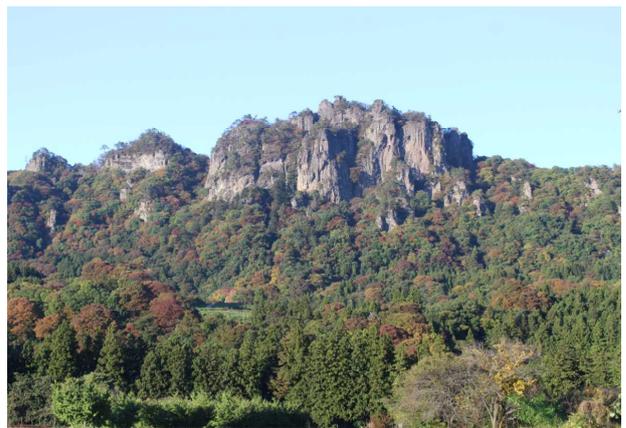
東吾妻町のシンボル岩櫃山^{いわびつ}は、吾妻川に迫る200㌔もの断崖が連なり、日本一の兵“真田氏ゆかりの「岩櫃城」^{ひのもといちのつわもの}”の要害であり、難攻不落の山城があった場所として大河ドラマでも話題になりました。

山頂一帯は国有林で、町により登山道が整備され、「忍者の里」としても様々なイベントが行われています。ホットなニュースとして、国の文化審議会において「岩櫃城跡」の国史跡指定に向けた答申がなされたということです。

吾妻川を上流に向かうと、国指定名勝「吾妻渓」となります。渓谷上流は国有林で、町により歩道が整備されており、川幅数㌔、高さ50㌔の渓谷の深さを際立たせるブルーの水面と、新緑と紅葉を見下ろす「鹿飛橋」からの眺めは絶景です。

更に上流に向かうと「八ッ場ダム」関連工事が2019年度末完成に向けて行われています。ダム工事により付替となった廃線区間には、「吾妻線樽沢トンネル全長約7.2㌔」と日本一短い鉄道トンネルが残り、これらを利用したトロッコ自転車試験運行会が行われるなど新たな観光メニューが計画されています。

- ※ドラマに登場した風景 岩櫃山（2018年10月）
- ※吾妻渓谷の鹿飛橋から上流側（2018年10月）
- ※吾妻渓谷の見晴台から「ダム基礎工事」を見下ろす（2016年11月）
- ※「すいせん祭り」岩井親水公園から満開の桜（2019年4月）



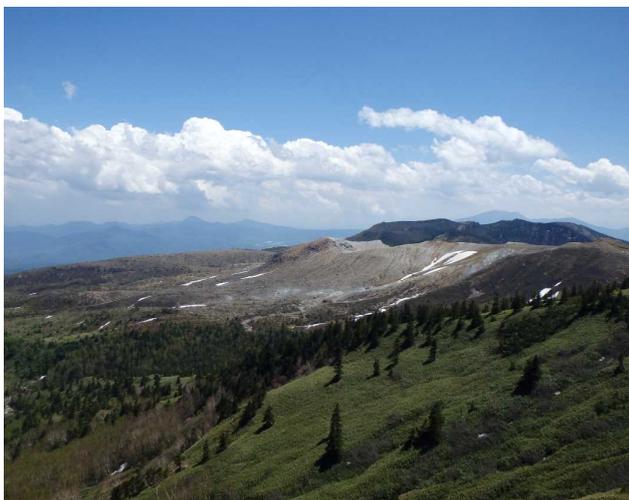
草津町の草津温泉は、自然湧出量日本で毎分3万^{リットル}を超え、「にっぽんの温泉百選（観光経済新聞社）」16年連続で一位（2018年）に選ばれるなど、日本三大名湯の一つとして知られています。

温泉街を周る山々は国有林で、多くがレクリエーションの森です。その中の草津温泉スキー場は、2018年1月の本白根山の噴火の影響を受けて上部ゲレンデ等が閉鎖され規模が縮小されましたが、山麓の天狗山のゲレンデ斜面を活用した日本一の急勾配ジップラインやカフェテラスが整備されました。これらの取組により、友達や家族で元気に四季を通じて楽しめる高原のプレイゾーンへと魅力度がアップし、訪れる人は増加傾向とのことです。

噴火前の本白根山では、草津中学校の生徒などによるコマクサ保護活動や、噴火のあった鏡池での森林教室などを行っていましたが、場所をスキー場ゲレンデ内に移し、森林教室等を継続しています。

また、閉鎖されたゲレンデの振り子沢・清水沢には、不安定な土砂や噴火降灰が堆積しています。豪雨等による土砂災害の防止に取り組む国有林の治山工事を開始しました。草津町の安心・安全への貢献に努めます。

草津白根山の火山活動の影響により、通行規制されていた志賀草津高原ルート（国道292号）ですが、一部車両規制がありつつも日中は通行可能となりました。（天候等により通行止もあり要情報確認）



この稜線を望む山小屋には、日本自動車史に刻まれ、「山並みと青空を区切る稜線」を意味する「スカイライン」という車名をひらめいた車両設計者の命名の地として記念のプレートが設置されています。

※草津温泉「湯畑」のライトアップ(2018年5月)

※本白根山噴火の降灰等ヘリ調査(2018年3月)

左手前の稜線が噴火口で右側に降灰を確認。現在、噴火警戒レベル1(2019年4月)に下がりましたが、安全に万全を期すため登山口から立入規制がされています。

※草津中学校の生徒の皆さんと本白根山頂へ(2018年6月)

※初夏の草津白根山等の山々(2017年6月)

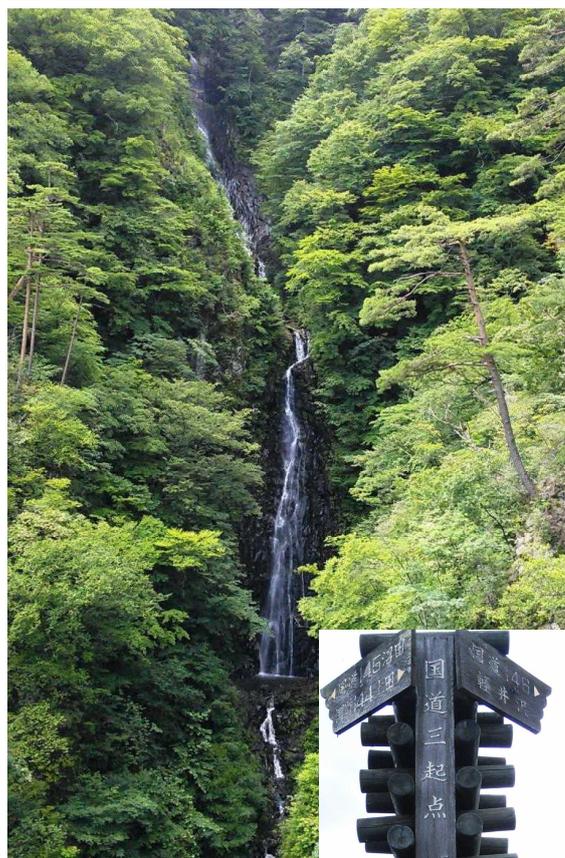
長野原町は、吾妻郡の中央に位置し、東に東京・渋川方面、西に嬭恋・上田方面、南に軽井沢方面、北に草津方面からの国道が交わり、上野からの直通電車「草津号」の終着駅があるなど、**交通の要衝**の町です。

この地に、**ハッ場ダム**が完成します。現在、打設は完了し、秋からの試験湛水、2020年3月の完成に向け、周辺の施設整備も含め国土交通省ハッ場ダム工事事務所などにより急ピッチで工事が行われています。また、ダム完成までの限定ですが、ハッ場大橋からの**バンジージャンプ日本一**（高さ106㊦）が行われており、初日には、長野原町長自らが飛んで話題となっています。

ダム本体の右岸一帯と、左岸の上方は国有林です。春の芽吹き、夏の深緑、秋の紅葉、冬の雪姿を、誕生する「ハッ場ダム湖」に映し出し、訪れる方々の思い出の風景の一コマとなるのではと思います。

また、ダム上流の不動大橋からは、落差100㊦近い滝、「**不動滝**」が一望できます。更に進むと、ケーキのような形の「**丸岩**」が見えます。丸岩上流では復旧治山事業が施工されており、この工事は、コスト縮減と景観への配慮が評価され、平成30年度に**農林水産大臣賞**（治山・林道工事コンクール）を受賞しました。

さらに嬭恋村方面に向かうと、国道144、145、146の3本の国道の起点となる「**羽根尾**」交差点があります。山間集落内の交差点が**3国道起点**となっていることは珍しいのではと感じます。



- ※「やんば見放題」からダム本体工事現場(2018年6月)
- ※不動大橋から「不動滝」(2019年7月) (秋の紅葉もお薦め)
- ※深沢復旧治山工事の鋼製枠谷止工(2018年8月)
- ※「丸岩」※「国道3起点」の標柱(羽根尾)(2019年7月)

高山村は、吾妻郡の東に位置し、**周囲を山で囲まれた盆地に田園風景**が広がる地域です。南北に関東と新潟を結ぶ三国街道、東西に沼田城と上田城を結ぶ真田街道（通称）が交わる交通の要衝でした。

国有林は、三国街道（県道36号）の高山村入口の中山峠から子持山へ至る100㊦程度で、多くがカラマツ等の人工林です。

中山峠の県道に面する伐採跡地には、村の要望をうけ、**花・紅葉が楽しめるヤマザクラなどを植栽**し、自生する広葉樹を含めて育てていく施業を行っております。また、通過する県道のメロディーラインから「**星に願いを**」が聞こえます。

子持山方面の山麓の台地には、「**県立ぐんま天文台**」があります。直接目で覗ける反射式望遠鏡としては国内最大級とのこと。一般者から専門家の方まで幅広く使え、都市部に近いこともあり、夜間の入館者数が日本一多い天文台とのこと。

高山村では、この美しい星空を守るために、人工の光を抑制し天体観測の環境づくりを目的とした「**光環境条例**」が1998年に制定されてもいます。



※道の駅「中山盆地」から子持山方面。手前に田んぼアートが見えます（2019年7月）

※県道の高山村入口のメロディーラインと、右側の緑は、広葉樹を植栽した国有林（2019年7月）

※県立ぐんま天文台（2019年7月）

○編集後記：吾妻地域の観光スポットの多くが、緑豊かな森林に囲まれています。その多くの森や山々が国有林でもあります。吾妻地域の緑豊かな森林や山が地域の財産であることを誇りに、地域の皆様の声を聞きながら、国有林の管理・経営に取り組んで参ります。

本資料の作成に当たっては、各町村や観光協会等のHPやパンフレット、町村誌等を参考にさせて頂きました。また、取材などにご協力頂いた皆様に感謝致します。（なお、紙面は国有林面積の多い順としています。写真は署員が撮影・共有しているものから選びました）

○追伸：2020年は群馬DCが始まることをご紹介します。

○文責：吾妻森林管理署 廣田祐一

(2019/7/26)



群馬デスティネーションキャンペーン

2020.4.1▶6.30

フレキャンペーン 2019.4.1▶6.30

アフターキャンペーン 2021.4.1▶6.30